

平成29年6月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月10日

上場会社名 株式会社オウケイウェイヴ 上場取引所 名
 コード番号 3808 URL http://www.okwave.co.jp/
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)兼元 謙任
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営管理本部長 (氏名)野崎 正徳 (TEL)03(5793)1195
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第1四半期の連結業績(平成28年7月1日~平成28年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第1四半期	575	△1.3	△3	—	△6	—	△8	—
28年6月期第1四半期	582	△16.5	21	—	24	—	21	—

(注) 包括利益 29年6月期第1四半期 △11百万円(—%) 28年6月期第1四半期 19百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第1四半期	△0.93	—
28年6月期第1四半期	2.48	2.47

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年6月期第1四半期	1,685	1,371	80.6
28年6月期	1,787	1,382	76.6

(参考) 自己資本 29年6月期第1四半期 1,357百万円 28年6月期 1,368百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年6月期	—				
29年6月期(予想)		0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日~平成29年6月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	1,200	1.8	15	△68.9	15	△69.1	10	△61.9	1.15
通期	2,500	3.7	180	16.1	180	26.9	100	36.1	11.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期1Q	8,729,800株	28年6月期	8,728,300株
29年6月期1Q	60株	28年6月期	60株
29年6月期1Q	8,729,430株	28年6月期1Q	8,711,527株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
(4) 追加情報	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①全般的概況

当第1四半期連結累計期間（平成28年7月1日～平成28年9月30日）においては、エンタープライズソリューション事業ならびに多言語CRM事業の売上高は好調に推移していますが、前期、ソーシャルメディア事業の一部サービスに外的環境の変化があったことから、売上高は575,371千円（前年同期比△1.3%）の微減となりました。

費用においては、人材強化のための採用費や、外注費等の一時的な費用が発生したことから、営業損失は3,147千円（前年同期21,739千円の利益）、経常損失は6,627千円（前年同期24,842千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は8,104千円（前年同期21,567千円の利益）となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	575,371	△7,445	△1.3
営業損失(△)	△3,147	△24,887	—
経常損失(△)	△6,627	△31,470	—
親会社株主に帰属する 四半期純損失(△)	△8,104	△29,671	—

②事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

なお、当第1四半期より、報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。また、各事業分野のセグメント利益は、全社費用160,946千円（前年同期123,876千円）を含まない額であります。

・ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、Q&Aサイト「OKWAVE」のプラットフォームを活用したサービスを提供しています。

当期の売上高におきましては、新サービス「Support Community Cloud」の提供開始をいたしました。一部サービスの外的環境の変化があったことから、前年同期比では大幅減収となっております。しかしながら上期の当事業売上高予想に対する進捗率は46.2%とほぼ予定通りの進捗となっており、今後は「Support Community Cloud」サービスの積極的な販売を行っていく予定となっております。

利益におきましては、事業統合により費用の圧縮を実現しておりますが、売上高の減少が影響し、減益となりました。また米国子会社OKWAVE INC.においても、新規サービスへの開発投資を行っていることから、費用が先行発生しております。

※ソーシャルメディア事業とナレッジマーケット事業の親和性が高まってきたことから、両事業の最大化ならびに最適化を図るため、当期よりナレッジマーケット事業をソーシャルメディア事業へ事業統合しております。更に、エンタープライズソリューション事業からもソーシャルメディア事業に親和性の高い一部サービスを移管していることから、前年同期資料と数値が異なります。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	94,942	△47,764	△33.5
セグメント損失(△)	△22,009	△18,352	—

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、企業へのお問い合わせの中で、よくある質問を管理・編集し、回答をインターネット上に公開することで、お問い合わせを減少させる企業向けソリューション「OKBIZ.（オウケイビズ）」を提供しています。

当事業のビジネスモデルは、導入に際する初期構築費とFAQシステムの期間貸し出しによる月額、ならびに従量課金となっております。

前期より順調に導入サイト数を積み重ねていることから、月額収入は前年同期比10.1%増と固定収入に厚みが増しております。また当期も引き続き、新規獲得が順調に推移していることから、当事業全体の売上高は6.3%の増収となりました。

利益におきましては、今後の売上拡販や製品向上を見据え人員強化を行っていることから採用費が発生しましたが、4.5%の増益となりました。

※前期まで当事業に帰属していた一部サービスを、ソーシャルメディア事業へ移管していることから、前年同期資料と数値が異なります。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	298,116	17,730	+6.3
セグメント利益	149,655	6,440	+4.5

・多言語CRM事業の概況

多言語CRM事業におきましては、訪日外国人客の増加や東京五輪に向けた対策の一環として、多言語コンタクトサービスの需要が高まっております。これにより地方自治体や鉄道、医療分野などの案件が増加しております。

業績におきましては、前期、黒字体質への転換を図るため、不採算サービスからの撤退を行いました。前期受注した大型開発案件を納品したことから、当事業全体の業績は増収増益となりました。

	当第1四半期 連結累計期間 (千円)	前第1四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	182,312	22,588	+14.1
セグメント利益	30,153	24,095	+397.8

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第1四半期連結会計期間末における資産残高は、主に現金及び預金、受取手形及び売掛金の減少により1,685,111円（前連結会計年度末比101,984千円減少）となりました。

(イ)負債

当第1四半期連結会計期間末における負債残高は、主に買掛金、未払金及び未払費用、前受金の減少により313,541千円（前連結会計年度末比90,706千円減少）となりました。

(ウ)純資産

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、主に利益剰余金、為替換算調整勘定の減少により1,371,570千円（前連結会計年度末比11,277千円減少）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年8月9日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものではありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

(繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	874,835	790,806
受取手形及び売掛金	298,167	238,322
その他	100,009	110,726
貸倒引当金	△886	△820
流動資産合計	1,272,125	1,139,035
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	73,446	73,446
減価償却累計額	△58,150	△58,934
建物及び構築物(純額)	15,295	14,511
工具、器具及び備品	374,718	381,739
減価償却累計額	△312,733	△319,371
工具、器具及び備品(純額)	61,984	62,368
有形固定資産合計	77,280	76,880
無形固定資産		
ソフトウェア	20,624	30,065
ソフトウェア仮勘定	23,917	36,607
その他	14,073	13,715
無形固定資産合計	58,615	80,388
投資その他の資産		
投資有価証券	174,141	196,341
その他	267,611	254,542
貸倒引当金	△62,678	△62,075
投資その他の資産合計	379,074	388,808
固定資産合計	514,970	546,076
資産合計	1,787,096	1,685,111
負債の部		
流動負債		
買掛金	45,388	37,953
未払金及び未払費用	172,630	149,334
未払法人税等	16,944	5,707
短期借入金	1,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	7,200	7,200
その他	104,683	57,720
流動負債合計	347,847	258,916
固定負債		
長期借入金	23,600	21,800
資産除去債務	32,800	32,824
固定負債合計	56,400	54,624
負債合計	404,247	313,541

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	983,007	983,396
資本剰余金	952,807	953,196
利益剰余金	△562,273	△570,377
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,373,505	1,366,178
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	△4,604	△8,232
その他の包括利益累計額合計	△4,604	△8,232
新株予約権	12,047	11,788
非支配株主持分	1,900	1,837
純資産合計	1,382,848	1,371,570
負債純資産合計	1,787,096	1,685,111

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
売上高	582,817	575,371
売上原価	332,808	313,724
売上総利益	250,009	261,647
販売費及び一般管理費	228,269	264,795
営業利益又は営業損失(△)	21,739	△3,147
営業外収益		
受取利息	153	373
貸倒引当金戻入額	341	602
為替差益	2,277	—
雑収入	721	281
営業外収益合計	3,493	1,257
営業外費用		
支払利息	229	185
関係会社整理損	160	—
為替差損	—	4,282
雑損失	0	270
営業外費用合計	391	4,737
経常利益又は経常損失(△)	24,842	△6,627
特別利益		
新株予約権戻入益	—	43
特別利益合計	—	43
特別損失		
固定資産除却損	77	—
特別損失合計	77	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	24,765	△6,584
法人税、住民税及び事業税	3,197	1,582
法人税等合計	3,197	1,582
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,567	△8,166
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△62
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会 社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,567	△8,104

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年9月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,567	△8,166
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	△1,827	△3,628
その他の包括利益合計	△1,827	△3,628
四半期包括利益	19,740	△11,795
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	19,740	△11,732
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△62

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第1四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープライズ ソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	142,706	280,386	159,724	582,817	—	582,817
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	750	△750	—
計	142,706	281,136	159,724	583,567	△750	582,817
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△3,657	143,215	6,057	145,615	△123,876	21,739

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	ソーシャル メディア 事業	エンタープライズ ソリューション 事業	多言語CRM 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	94,942	298,116	182,312	575,371	—	575,371
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	750	—	750	△750	—
計	94,942	298,866	182,312	576,121	△750	575,371
セグメント利益 又はセグメント損失 (△)	△22,009	149,655	30,153	157,798	△160,946	△3,147

(注)1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、当第1四半期連結会計期間より、経営の合理化及び事業の効率的運営を図るため、管理区分の見直しを行い、従来の「ナレッジマーケット事業」を「ソーシャルメディア事業」として再編し、一部のサービスを現在の運営実態に合わせ「エンタープライズソリューション事業」から「ソーシャルメディア事業」に移管しております。これに伴い、報告セグメントを4区分から「ソーシャルメディア事業」「エンタープライズソリューション事業」「多言語CRM事業」の3区分としております。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントに基づき作成しております。